

ヨーレート&G センサの 0 点取得

1. IG OFF にして、診断コネクタに TPM1000 を接続します。
2. シフトレバーが P ポジションの状態ですべてのインジケータランプのイニシャルチェックが終了することを確認します。
3. TPM1000 の画面表示を“診断”→“TOYOTA”→“作業サポート”→“ABS・VSC”→“モード移行”の順に選択し、“チェック（テスト）モード”を選択し、実行します。
4. チェックモードに移行してから約 5 秒間、車両静止状態を保ち、ABS ウォーニングランプおよび VSC OFF インジケータランプがテストモード表示になることを確認します。

■ 注意 ■

- ・ 0 点が消去された状態で走行すると、ヨーレートセンサおよび G センサの 0 点未補正異常コードを記憶します。
- ・ 0 点未補正異常コードもしくはエンジン ECU 通信線異常コード(C1203)を記憶した場合、0 点記憶消去から再度実施します。

□ 参考 □

- ・ 0 点取得終了後、メータ内の表示はテストモード表示に移行します。
5. 0 点取得終了後、“モード移行”画面に戻り、“ノーマルモード”を選択し、実行します。
 6. 以上で作業は終了です。初期画面に戻り、IG OFF にして TPM1000 を外します。